

もりさんかくしかくだより



令和4年12月
社会福祉法人 東京児童協会
新宿三つの木保育園もりさんかくしかく
〒160-0015 東京都新宿区大京町29番地
TEL 03-6457-4455 FAX 03-6457-4456
morisankakushikaku@ookinaouchi.com

落ち葉の音が心地よく、秋・冬の季節の良さを感じられるようになりました。
先日は休園に伴い、ご不便、ご不安な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。
東京都でも数多くの感染者が報道されている状況の中ですが、社会活動を維持しつつ、できる限りの感染症対策を行ってまいります。

皆様におかれましても、お仕事と感染症対策の両立はとても難しいと思いますが、保育園は集団生活の場となりますので、引き続き、ご家庭での体調確認の徹底、感染症対策の徹底、体調不良発覚時の早急なお迎えをお願いいたします。皆様のご理解、ご協力をどうぞお願いいたします。

虐待防止に関して



先日保育園での虐待の報道があり、心が締め付けられる思いを致しました。子どもたちはまだまだ善悪の判断や嫌な思いをしっかりと伝えることは難しく、周りの大人がしっかりと守っていくことが大切だと思います。

“自分の行いは大丈夫”と自分の基準で判断するのではなく、定期的に客観的な振り返り、意識をすることが大切だと改めて感じております。

三つの木保育園では、毎年度初めに児童憲章の研修を行い、年度途中に振り返りをチェックシートを利用しての虐待防止研修を行い、自分たちの行動を振り返っています。閉鎖的な空間ではない為、クラスの職員だけでなく、他クラスの職員同士も伝えあい、確認しあいながら子どもたちの成長を見守るようにしております。日々、変わる子どもたちの成長を教育面だけでなく、養護面の大切さを改めて職員同士共有し、保育にあたってまいりたいと思います。何か気になることがあれば職員までお伝えください。

友だちと一緒に… (思いやり、学びに向かう力・夢)

3歳児クラスは自分の気持ちを伝えること、人物になりきってお話づくりをすることが、活発になってきました。

最近では、高台のテーブルに集まり、遊園地に行ったつもりで話をしたり、おうちでの出来事を話したり、塗り絵や絵本を一緒に楽しみ、気づきを伝えあったり…落ち着いてゆっくり遊びながら、ひとりの工夫が繋がり、遊びの広がりを感じられるようになってきました。

先日遊園地の地図を見ながら、「どんな魔法使おうかな〜」「ええ！魔法は使いたくない〜」「なんで？」
「だってみんな凍っちゃったら困るもん！」「じゃあ、こっちに行ってみる？(違うエリアに行こうと誘う)」
空想の中の空想に思わず、笑ってしまいました。

“大好きなお友だちと一緒に”も楽しく、安心できる空間となるとは思いますが、いつもと違う友だちや遊びに挑戦できるような活動や空間の用意も大切にしたいと思っております。
新しい発見がまたつながって、新しい工夫につながっていくことを期待しております。

第三者評価アンケートのお願い

東京都より少なくとも3年に1回以上受審することとされている第三者評価アンケートですが、東京児童協会では、毎年行うことで、保護者の皆様の思いをお聞きし、運営に反映していきたいと持っております。そのため、東京児童協会では毎年皆様をお願いをしております。今年度は12月中旬ごろ配布予定となっております。今年もご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。



0歳児 あひる

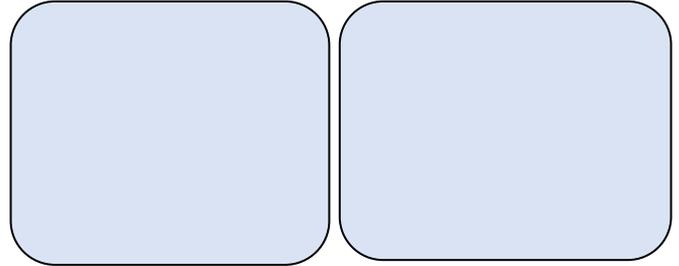


少しずつ身の回りのことに興味を持てるような関わりを行っています。衣服の着脱の際には「ズボンぬぎぬぎしようね」「お洋服に腕通すよ」等と丁寧に声を掛けながら援助を行っています。意欲が芽生え、自分で挑戦しようとする姿が見られた際には応援をしながら見守ったり、自分で少しでも着脱が出来た際には大いに褒めたりして、自分で出来た喜びを感じられるような関わりを大切に過ごしています。

日々の遊びの中でどんどん成長している子どもたち。最近では、子どもたちが自ら遊びを考えて遊んでいる姿が見られています。重ねカップを重ねた上に積み木を積んで遊んだり、バケツに砂を入れて鞆を持つように持ち、保育者に手を振りながら探索をしたりしています。今後も様々な遊びを提供し、子どもたちの発想力や遊びこめる集中力を育てていきたいと思っています。

<今月の目標>

- ◇冬の気温差に留意しつつ快適な環境の中で過ごせるようにする
- ❖保育者や他児と関わる中で発語や仕草が増え、気持ちを表現する



1歳児 うさぎ

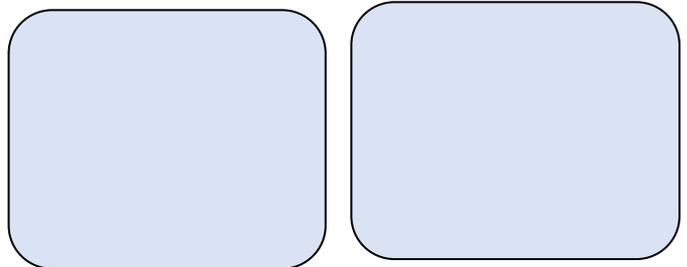


戸外後や排泄後に石鹸を付けて正しく手を洗えるよう、一緒に歌を歌いながら楽しく手を洗っています。「おてて綺麗になったかな?」と声掛けすると「ピカピカになったよ」と手を見せてくれます。これから更に気温が下がり感染症が増えることも予想される為、子どもたちが自ら積極的に手を洗えるような声掛けや援助をしていこうと思います。

また自由遊びでは友だちと一緒に遊ぶことが増え、最近ではお昼寝ごっこをして遊んでいます。「ごろんして」「ねんねよ」と保育者の真似をして布団を掛けたりトントンしたりして友だちと一緒にごっこ遊びを楽しんでいます。友だちと遊ぶ中で、会話のやり取りを楽しみながら新しい遊びを見つけていけたらと思います。

<今月の目標>

- ◇身の回りのことを進んで行き、達成感に繋がれるようにする
- ❖季節ならではの自然物に触れながら戸外で身体を使って遊ぶ



2歳児 ひよこ



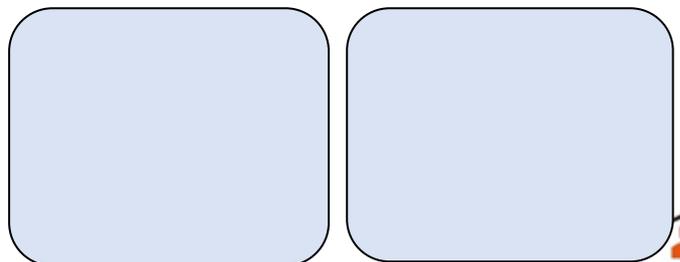
寒さを感じる季節となりました。寒い日は戸外に出る際に上着を着用しチャックを閉めることに積極的に挑戦しています。チャックの開け閉めが難しい際は、保育者が少し援助したり、方法を丁寧に伝えたりして、最後は自分で出来るような関わりを行うことで自分で出来たという達成感を感じ、自信に繋がれるようにしています。

制作では初めてはさみを使用しています。はさみを使うことに興味深々の子どもたち。最初は保育者が見本を見せながら一緒に行っています。次第に自分でやりたいという気持ちが芽生え、「こうやって持つの」と持ち方を保育者に聞く姿も見られました。自分で切ることが出来ると「できたよ」と保育者に嬉しそうに喜びを伝えていました。

“自分で出来た”という達成感を感じている姿が増えてきている為、様々なことに自分で挑戦する機会を作り、自信に繋がっていききたいと思っています。

<今月の目標>

- ◇感染予防を心掛け、健康に過ごせるようにする
- ❖体の様々な部位を使い、体を動かして遊ぶ



3 歳児・4 歳児・5 歳児
幼児



【しあわせのバケツをいっぱいにして】

自分の気持ちを相手に伝える時、どのように伝えたらいいのか、どんな言葉を遣ったらいいのかを日々の生活の中で知り、実際に友だちと会話をしながら学んでいます。聞いたことはあってもその言葉意味をよく知らずに遣っている場面も多く見られます。自分の言葉で友だちが傷ついて泣いたり、怒ったりする場面に出会い、初めて言葉の意味を知ったり、また反対に「ありがとう」「大丈夫だよ」の一言で相手が笑顔になり、自分も嬉しい気持ちになったりする経験をする中で、たくさんのことを学んでいます。言葉について幼児クラスの子どもたちと話し合った時、『気持ち』に焦点を当てた絵本『しあわせのバケツ』を読みました。幸せのバケツは、子どもも大人も動物も虫もみんなが持っていて、どうしたらバケツが空っぽになるのか、どうしたらバケツがいっぱいになるのかが書かれています。絵本を読み終わると、子どもたちは、自分のバケツも友だちのバケツも幸せでいっぱいになりたい、と話していました。誰かを助けた時、感謝した時、感謝してもらった時、嬉しい言葉を遣った時、楽しい気持ちになった時、そんな時に自分のバケツも相手のバケツも幸せでいっぱいになります。いっぱいになって溢れた時は、それをみんなで分け合って、三つの木保育園をもっともっと幸せでいっぱいにしていこうと、とても素敵な気持ちで取り組んでいます。是非、幸せのバケツの話をご家庭でも聞いてみてください。そして、一緒にバケツをいっぱいにしていきたいですね。

【地域との繋がり】

地域の方々との交流を行っています。今回は、保育園のすぐそばの自転車屋、コアファクトリーさん、小学校の用品や駄菓子等を売っている整容堂さん、お世話になっている八百屋のほていやさん、いつも地域を見守ってくださっている、大京町交番の4か所に行かせて頂きました。つき組が考えたインタビューや質問に答えてくださったり、一緒に集合写真を撮って頂いたり、子どもたちにとって貴重な経験をさせて頂きました。普段、よく近くを通っている場所でも実際に話をして交流してみると、今まで以上に身近に感じられたようで、保育園に帰ってきてから「あそこの店で前にお菓子を買ったことがあるんだよ」「お巡りさんはいつも朝、挨拶をしてくれるんだよね」等、以前の経験を思い出し、保育者や友だちに伝える姿がありました。その後、つき組が中心となってお礼状を書き、勤労感謝の日の前日の特別活動の時間に渡しにいきました。一所懸命に書いたお礼状を渡すととても喜んでくださり、子どもたちも嬉しい気持ちになって帰ってきました。今後も地域の方々との交流を大切にしていきたいと思っています。

【大きくなった会に向けて】

大きくなった会に向けて幼児クラスの子どもたちは楽しんで取り組んでいます。つき組は、自分たちで劇のセリフを考えたり、合奏曲を選んだり子どもたちで話し合っていて進めています。ほし組は、忍者に変身して表現することを楽しみにしていて「僕は、赤色忍者なんだよ」「今は修行中なの」と自分のなりたい忍者を思い描いているようです。はな組は、自分の好きな海の生き物に変身できることが嬉しいようで、毎朝のように「今日は、かめさんやる？」「今日もタコやりたい！」と保育者に伝える姿があります。大きくなった会の当日は、緊張もすると思います。ドキドキして普段のように動けないかもしれません。でも、当日までの間に楽しんで取り組んできた気持ち、挑戦してみようと頑張ってきた気持ちをたくさん受け止めて頂けたらと思います。

＜今月の目標＞

- 3歳
- ◇信頼のおける保育者や友だちと関わることで、心身共に健康に過ごせるようにする
- ◆体験したことや感じたこと、想像したことを様々な形で表現しようとする
- 4歳
- ◇自分の健康に関心を持ち、心身ともに健康に過ごす
- ◆友だちとの関わりを広げ、共通の目的をもって集団活動を行うことで、自分や友だちの姿を認めようとする
- 5歳
- ◇生活に必要な習慣や態度を身に付け、健康に過ごせるようにする
- ◆保育者や友だちとの関わりの中で満足感や達成感を味わうことで意欲的に生活できるようにする

食育だより



先月の食育の様子

ひよこ組は白菜ちぎりを行いました。自分の手よりも大きい白菜を一生懸命ちぎってくれました。つき組は芋掘り遠足で収穫したさつまいもを洗いました。つき組が考えた「さつまいもチップス」に使用するため、綺麗に土を落としてくれました。さつまいもチップスは大成功！美味しく出来ました♪



大きな葉っぱだ！

綺麗になあれ♪

さつまいもチップス
楽しみ！



12月献立について

今年も最後の月となりました。これからクリスマスや年越しなど楽しい行事が続きます。また、冬至やお正月など日本の伝統行事を伝える良い機会です。風邪などで体調を崩すことのないように、温かい食事を摂り、手洗い・うがいをしっかりして元気に過ごしましょう！

テーマ野菜：南瓜・白菜

南瓜は、βカロテンが豊富で風邪予防に効果があります。園では幅広く献立に使用し、サラダや汁物だけでなく、子どもたちの大好きなプリンやサンドイッチ等にも取り入れ、南瓜が苦手な子でも食べられるよう思いを込めています。

白菜は、水に溶けやすい水溶性の食物繊維やビタミンCが豊富で整腸作用、風邪予防に効果があります。調理法によって食感も異なるためスープでトロトロの、サラダでシャキシャキの白菜を楽しめるように献立に取り入れています。旬の食材を是非ご家庭でも堪能してみてください。

冬至について

今年は **12月22日** です！



1年の中で夜が最も長く、昼が短い日を言います。寒い1日となる為、寒さに負けない過ごし方が昔から大切にされています。

「ん」が2つつく食べ物を食べると健康になり、運が上がるとの言い伝えから、冬至献立にたくさんの「ん」のつく食材を取り入れました。

なんきん れんこん きんかん



南瓜（なんきん）のいとこ煮、蓮根の甘酢漬け、金柑ジャムヨーグルトとして提供します。

体をあたためる食事で 寒い冬を乗り越えましょう



冬に旬を迎える“冬野菜”は、寒さから身を守り凍ってしまうのを防ぐため、水分量を減らす代わりに糖を蓄えます。そのため実の詰まった甘い野菜が多く、体を温める栄養が豊富です。そんな魅力いっぱいの冬野菜を取り入れ、おいしく体を温めましょう。

園では里芋やなめこなど、
とろみのつく食材を汁物に取り入れることで
体をあたため、寒い冬も
元気に過ごせる工夫をしています。





保健のページ 12月



朝夕ひえ込む様になり、鼻汁や咳が多くなっています。冬に向けて心も体も元気に過ごせる様に、風邪予防はしっかりと行っていきましょう。

正しい手洗いについて

私たちの周囲には様々な病原体が身をひそめていて、油断につけこんで体内にはいりこんでいきます。病原体に感染しないために最も大切な対策は「手洗い」です。

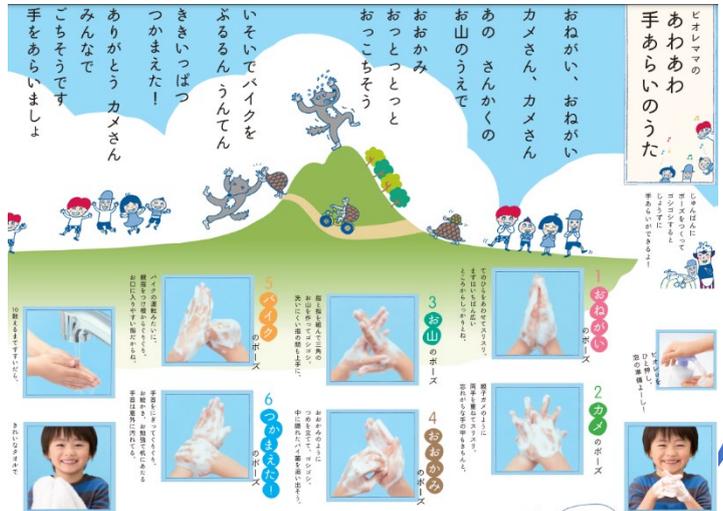
病原体が手指に付着したまま、食事をすれば病原体が口から入り込んでしまいます。

今一度、正しい手洗いの方法・アルコール消毒薬による手指消毒の手順を確認し、この冬を乗り越えていきましょう。

園では、手洗い場に花王あわわの歌の掲示をして、歌いながら手洗いをしてもらうようにしています。ぜひ、ご家庭でも一緒に手洗いしてみてください。

アルコール系消毒薬による手指消毒の手順

手指消毒のタイミング このようなときに**手指消毒**を行いましょう
● 石けんと流水による手洗いを行った上で、手洗いの効果を高めるために
● 目で見て手が汚れていない、すぐに石けんと流水による手洗いが必要な場合
・おもちゃやお箸等の取扱をする時 など



咳エチケットについて

咳やくしゃみをするとき、しぶきが2mほど飛びます。しぶきには病原体がふくまれている可能性があり、他の人に病気をうつす可能性があります。

咳やくしゃみを人に向けて発しないよう、特に人が集まる場所では、咳エチケットを実践することが重要となります。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まる場所でやろう



何もせずに咳やくしゃみをする
咳やくしゃみを手でおさえる



マスクを着用する(口・鼻を覆う)
ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



- ・マスクを着用します。
- ・ティッシュなどで鼻と口を覆います。
- ・とっさの時は袖や上着の内側で覆います。
- ・周囲の人からなるべく離れます。